

公法 出題の意図

問題 1

憲法 21 条は、その手段を問わず「一切の表現の自由」を保障しているから、放送の自由も表現の自由に含まれる。しかし、放送事業を行うに際しては免許を要するとされており、事前規制が存在するほか、放送内容についても、番組編成準則（放送法 4 条）や【ケース 5】で問題となった訂正放送制度など、活字メディアなど他の方法による表現の場合にはない特別の規制が課されている。そこで、放送に対する特別の規制を正当化する論拠が議論されてきたところである。昨今問題となっている放送法 4 条について、NHK 生活ほっとモーニング事件を素材に、放送の自由の特殊性、放送に対する特別の規制を正当化する論拠如何について検討することを求める出題である。

問題 2

【問 1】

行政法理論を構築する基本的な用語についての理解を問う問題である。

【問 2】

取消訴訟における訴えの利益に関する問題である。工事竣工および竣工認可後において、埋立免許を取り消すことにより、どのような結果が生ずることになるのかを、埋立免許の性質をふまえたうえで、検討することが求められる。

私法 出題の意図

問題 1

誤振込みの場合における預金債権の成立、不当利得返還請求に関する問題である。その論述により、民法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試される。

問題 2

株主総会決議を欠く子会社株式の譲渡の効力に関する問題である。その論述により、会社法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試されることになる。

刑法 出題の意図

集団強姦罪（刑法 178 条の 2）の共同正犯の成否を、問うものである。